

2021年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年2月10日

上場取引所 東

上場会社名 日精エー・エス・ビー機械株式会社

コード番号 6284 URL <http://www.nisseiasb.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 C00 (氏名) 宮坂 純一

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 容貝 泉夫 TEL 0267-23-1560

四半期報告書提出予定日 2021年2月12日 配当支払開始予定日 ー

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年9月期第1四半期の連結業績（2020年10月1日～2020年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年9月期第1四半期	7,886	34.3	1,918	172.0	1,716	136.3	1,285	66.6
2020年9月期第1四半期	5,869	△4.1	705	23.0	726	2.4	771	20.5

(注) 包括利益 2021年9月期第1四半期 1,106百万円 (23.0%) 2020年9月期第1四半期 899百万円 (85.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年9月期第1四半期	85.76	ー
2020年9月期第1四半期	51.49	ー

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年9月期第1四半期	58,171	31,605	54.3
2020年9月期	57,899	31,384	54.2

(参考) 自己資本 2021年9月期第1四半期 31,581百万円 2020年9月期 31,363百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年9月期	ー	0.00	ー	60.00	60.00
2021年9月期	ー				
2021年9月期(予想)		0.00	ー	60.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年9月期の連結業績予想（2020年10月1日～2021年9月30日）

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	36,000	32.1	6,500	34.0	6,600	41.3	4,700	10.9	313.51

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無

② ①以外の会計方針の変更： 無

③ 会計上の見積りの変更： 無

④ 修正再表示： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年9月期1Q	15,348,720株	2020年9月期	15,348,720株
② 期末自己株式数	2021年9月期1Q	357,048株	2020年9月期	357,048株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年9月期1Q	14,991,672株	2020年9月期1Q	14,991,675株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本書に記載した業績予想数値等は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づき判断した見通しであり、実際の業績等は、様々な要因により異なる場合があります。業績予想等の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報」「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(四半期連結損益計算書)	7
(四半期連結包括利益計算書)	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報)	9
3. 補足情報	10
受注及び販売の実績	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(2020年10月1日～2020年12月31日)の世界経済は、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、一部の国においてロックダウンが再開されるなど、経済活動の制約が強化されました。2021年にかけては、各国の財政出動やワクチンの普及が世界経済を押し上げるとの見方があるものの、回復には地域差があり、予断を許さない状況が続いております。また、我が国経済においても、新型コロナウイルスの感染拡大加速に伴い、足元で大都市圏を中心に緊急事態宣言が再発令され、消費環境が冷え込むなど、先行き不透明な状況が続いております。

一方で、当社グループの属するストレッチブロー成形機業界におきましては、世界的なサプライチェーンの混乱や、大規模展示会の開催中止など、事業活動への一時的なマイナス影響はあるものの、コロナ禍による生活様式の変化を受け、安全で衛生的なプラスチック容器の需要は高まっており、医薬品や衛生品などのウイルス対策用品や、食料・飲料及び日用品などの生活必需品の容器需要は底堅いものがあります。

こうした環境下、当社グループは「人と社会に豊かさを提供する」「高い技術、サービスで恒久的な存続を追求する」との経営理念に基づき、中長期的な成長発展方針を継続し、事業規模の拡大を見据えた各種戦略的施策の展開に注力しました。

技術面では、当社の得意領域である、高品質・高付加価値生産が特徴のワンステップ成形機の優位性を高める「ゼロ・クーリングシステム」の更なる進化を図り、製品競争力の向上に努めました。また、ツーステップ市場でのシェア拡大を企図するため、高品質・高付加価値の強みを活かしながら、量産性も追求する新型機の開発を強化しております。

販売面では、競争力強化による市場喚起に加え、コロナ禍による衛生観念の広がりを追い風に、安全で衛生的なプラスチック容器の需要が好調に推移しております。また、高品質な中小型容器の大量生産を得意とする1.5ステップの大型機「PF36シリーズ」が継続して受注を獲得するなど、顧客と市場の幅を着実に広げております。

生産面では、前期から導入を進めておりましたインド工場への金型生産設備の追加投資を終え、金型生産能力を増強しました。また、生産体制の再構築につきましては、本社工場への金型追加設備の導入や、インド及び国内両工場での中小型機の柔軟な生産体制を構築することで、増産対応とリスク分散を進めております。

また、環境対応技術では、「3R+Renewable」への取り組みを継続し、「材料使用量の削減」、「PETボトルリユースの提案」、「リサイクル材料の使用促進」、「バイオプラスチックのボトル成形」などのソリューションを提供することで、環境配慮型の技術提案を強化しております。なお、リサイクル材料を使った二層成形法には国内外からの多くの引き合いをいただいております、市場萌芽に向けた技術革新を今後も続けてまいります。

販売成績につきましては、ゼロ・クーリングシステムの市場浸透に加え、安全で衛生的なプラスチック容器の需要の高まりを受け、全世界からの引き合いが好調に推移した結果、当期の受注高は10,865百万円(前年同期比133.0%)と大きく伸長し、四半期としては初めて100億円を突破しました。同様に、当期末の受注残高は18,415百万円(前年同期末比158.8%)となり、過去最高を確保しました。売上高につきましても、豊富な受注残高を順調に消化した結果、7,886百万円(前年同期比134.3%)と大幅増収となり、第1四半期としては過去最高を記録しました。

利益面につきましては、増収効果に加え、展示会費用や各種販売費用の減少等により、売上総利益は3,739百万円(同135.7%)、営業利益は1,918百万円(同272.0%)、経常利益は1,716百万円(同236.3%)とそれぞれ大幅増益となりました。その結果、親会社株主に帰属する四半期純利益も1,285百万円(同166.6%)と大幅増益となりました。

当第1四半期連結累計期間における損益の状況は次のとおりであります。

(単位：百万円)

	売上高	売上総利益	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する四半期純利益
当第1四半期	7,886	3,739	1,918	1,716	1,285
前第1四半期	5,869	2,756	705	726	771
前年同期比	134.3%	135.7%	272.0%	236.3%	166.6%

製品別売上高状況

(単位：百万円)

	ストレッチブロー成形機	金型	付属機器	部品その他	合計
当第1四半期	4,362	2,201	487	835	7,886
前第1四半期	2,787	1,944	403	734	5,869
前年同期比	156.5%	113.2%	120.8%	113.7%	134.3%

製品別の売上高状況につきましては、ゼロ・クーリングシステム搭載機を始めとした製品競争力の強化により、ストレッチブロー成形機が4,362百万円（前年同期比156.5%）、金型が2,201百万円（同113.2%）、付属機器が487百万円（同120.8%）、部品その他が835百万円（同113.7%）とそれぞれ増収となりました。特に金型においては、四半期として過去最高水準の売上高を記録しており、消費者ニーズの多様化を背景に、多種多様な容器成形を得意とする当社成形機の強みが発揮されております。

セグメントの業績は次のとおりであります。

セグメント（地域）別売上高状況

(単位：百万円)

	米州	欧州	南・西アジア	東アジア	合計
当第1四半期	2,683	1,680	2,470	1,051	7,886
前第1四半期	1,731	1,028	1,924	1,185	5,869
前年同期比	155.0%	163.4%	128.4%	88.7%	134.3%

セグメント（地域）別利益

(単位：百万円)

	米州	欧州	南・西アジア	東アジア	合計
当第1四半期	534	216	334	1,576	2,661
前第1四半期	238	90	125	817	1,271
前年同期比	224.3%	239.5%	266.6%	192.7%	209.3%

① 米州

消毒液や生活必需品等の容器需要の高まりを受け、北米を中心に好調な引き合いが続いており、地域全体の売上高は2,683百万円（前年同期比155.0%）と増収となりました。セグメント利益も、増収効果等により534百万円（同224.3%）と増益となりました。

② 欧州

欧州各国での経済活動再開後は、地域による濃淡の差はあるものの、中小型機を中心に引き合いが好調に推移した結果、地域全体の売上高は1,680百万円（前年同期比163.4%）と増収となりました。セグメント利益も、増収効果に加え、展示会費用の減少等により216百万円（同239.5%）と増益となりました。

③ 南・西アジア

コロナ禍による影響は域内の新興国に色濃く残るものの、インドを中心に中小型機の引き合いが徐々に復調した結果、地域全体の売上高は2,470百万円（前年同期比128.4%）と増収となりました。セグメント利益も増収効果等により334百万円（同266.6%）と増益となりました。

④ 東アジア

各国市場の引き合いは比較的堅調に推移しているものの、前期末の売上増の反動により、地域全体の売上高は1,051百万円（前年同期比88.7%）と減収となりました。一方、セグメント利益は、展示会費用の減少等により1,576百万円（同192.7%）と増益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

(単位：百万円)

	流動資産	固定資産	流動負債	固定負債	純資産
当第1四半期	42,770	15,401	12,390	14,175	31,605
前連結会計年度	42,020	15,879	11,783	14,731	31,384

当第1四半期連結会計期間末（以下、当期末）の流動資産は、前連結会計年度末（以下、前期末）と比べ749百万円増加し、42,770百万円となりました。また、固定資産は、前期末と比べ477百万円減少し、15,401百万円となりました。この結果、当期末の資産合計は、前期末と比べ271百万円増加し、58,171百万円となりました。

流動負債は、前期末と比べ607百万円増加し、12,390百万円となりました。また、固定負債は、前期末と比べ556百万円減少し、14,175百万円となりました。

純資産は、前期末と比べ221百万円増加し、31,605百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年9月期の連結業績予想につきましては、2020年11月11日公表の予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	17,699	18,504
受取手形及び売掛金	7,817	6,808
有価証券	1,500	1,500
商品及び製品	1,772	2,187
仕掛品	5,874	6,081
原材料及び貯蔵品	6,176	6,261
その他	1,248	1,508
貸倒引当金	△68	△81
流動資産合計	42,020	42,770
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	5,044	4,926
機械装置及び運搬具（純額）	4,811	5,133
土地	1,165	1,165
その他（純額）	2,980	2,354
有形固定資産合計	14,001	13,579
無形固定資産	106	117
投資その他の資産		
投資有価証券	164	153
その他	1,611	1,554
貸倒引当金	△3	△3
投資その他の資産合計	1,771	1,704
固定資産合計	15,879	15,401
資産合計	57,899	58,171

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,117	3,411
短期借入金	1,898	1,955
未払法人税等	575	408
前受金	4,200	4,544
賞与引当金	482	255
役員賞与引当金	49	14
その他	1,458	1,800
流動負債合計	11,783	12,390
固定負債		
長期借入金	13,036	12,491
役員退職慰労引当金	472	454
退職給付に係る負債	715	720
その他	507	508
固定負債合計	14,731	14,175
負債合計	26,515	26,565
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,860	3,860
資本剰余金	3,196	3,196
利益剰余金	27,686	28,086
自己株式	△300	△300
株主資本合計	34,443	34,843
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△0	△11
為替換算調整勘定	△3,033	△3,206
退職給付に係る調整累計額	△45	△44
その他の包括利益累計額合計	△3,079	△3,262
非支配株主持分	20	24
純資産合計	31,384	31,605
負債純資産合計	57,899	58,171

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2019年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年10月1日 至 2020年12月31日)
売上高	5,869	7,886
売上原価	3,113	4,146
売上総利益	2,756	3,739
販売費及び一般管理費	2,050	1,821
営業利益	705	1,918
営業外収益		
受取利息	27	36
受取配当金	3	3
為替差益	126	—
受取手数料	47	33
その他	4	11
営業外収益合計	209	84
営業外費用		
支払利息	12	14
為替差損	—	213
遊休資産諸費用	33	—
訴訟関連費用	139	55
その他	2	3
営業外費用合計	188	286
経常利益	726	1,716
特別利益		
固定資産売却益	17	—
保険差益	419	—
特別利益合計	437	—
特別損失		
固定資産売却損	0	—
特別損失合計	0	—
税金等調整前四半期純利益	1,163	1,716
法人税、住民税及び事業税	191	390
法人税等調整額	199	37
法人税等合計	391	427
四半期純利益	772	1,288
非支配株主に帰属する四半期純利益	0	3
親会社株主に帰属する四半期純利益	771	1,285

(四半期連結包括利益計算書)

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2019年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年10月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益	772	1,288
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	16	△10
為替換算調整勘定	110	△172
退職給付に係る調整額	—	1
その他の包括利益合計	126	△182
四半期包括利益	899	1,106
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	898	1,102
非支配株主に係る四半期包括利益	1	3

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

前第1四半期連結累計期間(自 2019年10月1日 至 2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	米州	欧州	南・西アジア	東アジア	計		
売上高							
外部顧客への売上高	1,731	1,028	1,924	1,185	5,869	—	5,869
セグメント間の内部 売上高又は振替高	15	11	1,514	3,009	4,550	△4,550	—
計	1,746	1,040	3,439	4,194	10,420	△4,550	5,869
セグメント利益	238	90	125	817	1,271	△566	705

(注) 1. セグメント利益の調整額△566百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△771百万円、セグメント間取引消去204百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間(自 2020年10月1日 至 2020年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	米州	欧州	南・西アジア	東アジア	計		
売上高							
外部顧客への売上高	2,683	1,680	2,470	1,051	7,886	—	7,886
セグメント間の内部 売上高又は振替高	13	10	1,842	4,743	6,609	△6,609	—
計	2,696	1,691	4,312	5,794	14,496	△6,609	7,886
セグメント利益	534	216	334	1,576	2,661	△743	1,918

(注) 1. セグメント利益の調整額△743百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△834百万円、セグメント間取引消去91百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 補足情報

受注及び販売の実績

① 受注実績

製品別	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2019年12月31日)		当第1四半期連結累計期間 (自 2020年10月1日 至 2020年12月31日)		前年同期比	
	受注高 (百万円)	受注残高 (百万円)	受注高 (百万円)	受注残高 (百万円)	受注高 (%)	受注残高 (%)
ストレッチブロー成形機	4,905	7,012	6,864	11,641	139.9	166.0
金型	1,948	3,666	2,375	5,437	121.9	148.3
付属機器	542	818	791	1,224	145.9	149.6
部品その他	769	98	833	111	108.3	113.7
合計	8,166	11,595	10,865	18,415	133.0	158.8

セグメント別	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2019年12月31日)		当第1四半期連結累計期間 (自 2020年10月1日 至 2020年12月31日)		前年同期比	
	受注高 (百万円)	受注残高 (百万円)	受注高 (百万円)	受注残高 (百万円)	受注高 (%)	受注残高 (%)
米州	1,644	2,447	3,274	6,215	199.1	253.9
欧州	1,631	2,498	2,110	3,904	129.4	156.2
南・西アジア	2,433	3,462	2,942	4,453	120.9	128.6
東アジア	2,457	3,186	2,537	3,841	103.2	120.6
合計	8,166	11,595	10,865	18,415	133.0	158.8

② 販売実績

製品別	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2019年12月31日)		当第1四半期連結累計期間 (自 2020年10月1日 至 2020年12月31日)		前年同期比 (%)
	金額(百万円)	構成比 (%)	金額(百万円)	構成比 (%)	
ストレッチブロー成形機	2,787	47.5	4,362	55.3	156.5
金型	1,944	33.1	2,201	27.9	113.2
付属機器	403	6.9	487	6.2	120.8
部品その他	734	12.5	835	10.6	113.7
合計	5,869	100.0	7,886	100.0	134.3

セグメント別	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2019年12月31日)		当第1四半期連結累計期間 (自 2020年10月1日 至 2020年12月31日)		前年同期比(%)
	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)	
米州	1,731	29.5	2,683	34.0	155.0
欧州	1,028	17.5	1,680	21.3	163.4
南・西アジア	1,924	32.8	2,470	31.3	128.4
東アジア	1,185	20.2	1,051	13.4	88.7
合計	5,869	100.0	7,886	100.0	134.3